



その昔、倭姫命(ヤマトヒメノミコト)が宮川を渡られる際に案内をした真奈胡神(マナコノカミ)が祭神で、境内には玉砂利が敷かれており、静かな空気が流れています。



石室の中に地藏(宝暦6年・1756年)が祀られています。



地元の人々が、道中の安全を祈って祀られたとされる説と、むかし、この地域周辺で疫病が流行し、これ以上広まらないようにと祀られたという説がありますが、さだかではありません。



一晩中つけておく明かりのことをいいます。昔の人々が街道を通る際の道しるべとし、また信仰の場としていたと思われます。

■ 距離／約2.2km

■ 歩 行 時 間／60分

■ 散 策 レ ベ ル／★

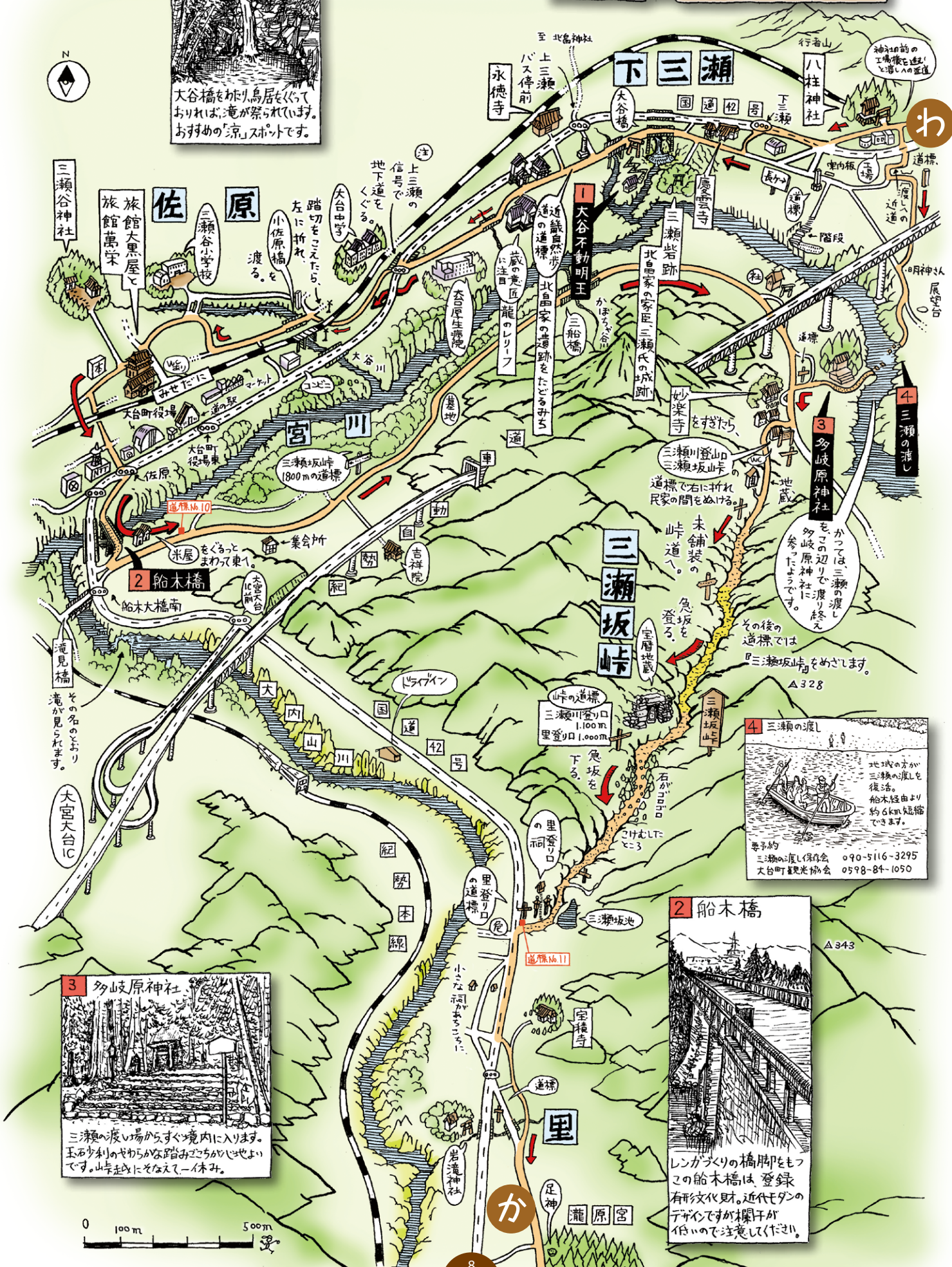
■ コースの特徴／巡礼者は三瀬の渡しで宮川と別れを告げて、三瀬坂峠を目指します。三瀬坂峠(標高256m)は高い峠ではありませんが、急坂のつづら折りがつづきます。茶屋跡や、宝暦6年に祀られたとされる地藏などがあり、古道の雰囲気を感じることができます。道も歩きやすく、初心者の方にもおすすめです。



そのハ

しもみせ みせざか
下三瀬が三瀬坂峠を経て、滝原まで

8.5km 150分



4 三瀬の渡し

地域の人が三瀬の渡しを復活。船木橋より約6km短縮できます。

要予約
三瀬の渡し保存会 090-5116-3295
大台町観光協会 0598-84-1050

2 船木橋

レンガ柱の橋脚をもつこの船木橋は、登録有形文化財。近代セメントのデザインですが欄干が古いので注意ください。

3 多岐原神社

三瀬の渡し場からすぐ境内に入ります。玉石の利のせわがな踏みおごちの地といひです。山歩きにそなえて一休み。